

市政に対する 一般質問

今定例会では、11人の議員が2月21日、22日、23日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

小林啓子議員

- 高次脳機能障害について
- 「幸手市デマンド交通」について
- 高齢者運転事故防止について

宮杉勝男議員

- 主な市内行政施設駐車場について
- 市役所入口の右折解除について

本田謡子議員

- 緊急時における子どものあずかり場所について
- 幸手の子ども神輿について
- コンビニ設置されたAEDのその後について

中村孝子議員

- スクールガードについて
- 公共施設等総合管理計画について

青木章議員

- 健康ポイントについて
- 障がい者就労支援について

小林順一議員

- 災害救援の迅速化について
- 空き家対策について

大平泰二議員

- 公職選挙法について
- 市税の差押禁止
- 平成24・25・26・27年の市長車借上げ内容
- 水害対策
- 民間橋上駅舎建設費
- 財政の健全化

松田雅代議員

- 計画的行政運営で実現する「幸手市に住みたくなるような魅力あるまちづくり」について
- 今年度のデマンド交通の業務委託、運用の検証について
- 内水改善対策の推進について
- 変化する農業政策への対応について
- 志手橋の歴史的意義づけについて

小河原浩和議員

- フィルムコミッションの設立について

木村治夫議員

- 災害対策の充実について
- 観光の振興について

武藤壽男議員

- 惣新田菅島地内の農業振興地域第1種農用地の開発について
- 市の職員の職務姿勢について



宮杉勝男議員

市内行政施設駐車場の状況

Q 市内行政施設を利用するにあたり、普段は良いが行事を開催すると駐車場が足りないとの市民の声を聴くが、改善を求めるために次の事項を伺う。

(1) 市内行政施設で、駐車場を増やしてほしいとの要望がどれくらいあるか伺う。

(2) 要望に対して進捗しているこ

A (1) (2) 増設の要望があったコミュニティセンターでは消防署など近隣施設の駐車場を借用している。ウェルス幸手では公用車などを移動し駐車スペースを確保している。市営釣

とおよび今後の見通しを伺う。

(3) 特にアスカル幸手は、駐車場不足になることが多いが、近隣の土地を購入するなどして対策を講じるべきと考えるが、市の考えを伺う。

場と千塚西公園については近隣が優良農地のため駐車場確保はハードルが高い状況である。

(3) アスカル幸手では、大会時等に満車状態になることがある。周辺の土地利用に関し規制があるが、駐車場を増やすよう検討していく。

(市長、市民生活部長、健康福祉部長、建設経済部長)



小林啓子議員

高齢者運転事故防止は

Q 高齢者の運転免許自主返納者に対して、返納後の代替交通手段の確保が重要となる。

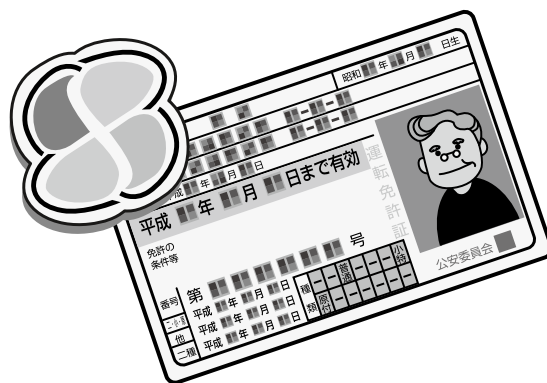
幸手市としての考えを伺う。

A 昨年、幸手警察署で受け付けをした、運転免許証返納者数は205人おり、ほとんどが高齢者であった。

運転免許証を返納した高齢者の市内の移動手段として、幸手市で運行しているデマンド交通を積極的に活用していただきたい。

その活用方法としては、平成29年度中に運転免許証を返納した高齢者の方に、幸手市デマンド交通回数券の配布や、またはタクシー券を配布するなど実施に向けて検討していく。

(市民生活部長)



見せたい、体験させたい、子ども神輿



本田謡子議員

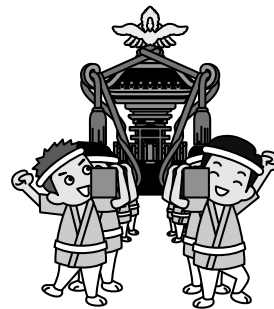
Q 以前、市役所ロビーに子ども神輿が飾られたことがある。そこには地域の歴史と絆があり、思わず見入ってしまった。そこで新しく設置される

(仮称)郷土資料室に、市内の子ども神輿を一堂に展示したら迫力があると思うが、これは可能か伺う。

また、郷土愛を育むためにも、

A 現在、整備を進めている(仮称)郷土資料室では、市の歴史に関する重要テーマについて調査研究した成果を

展示する「企画展示スぺー



ス」を計画している。企画の資料として、一部の子ども神輿を展示する場所を確保することはできるが、祭礼に使用されるものなので、慎重に取り扱いたい。

また、八坂の夏祭りでは中心市街地にある子ども神輿10基を集め中央通りを一部通行止めにして、「子ども神輿連合渡御」が実施されており、各町内の子どもに限らず参加できる。

(教育次長、建設経済部長)

児童・生徒の安全を見守る



中村孝子議員

Q 児童・生徒の登下校時に、スクールガードの方々が立哨を行い安全を見守ってくれている。

昨今、児童や見守りの方の死傷事件が度々おきている。そこでスクールガードについて、発足の経緯・市側の対応部署・装備品の支給やボランティアの皆さんの保障について、また、自

身も気をつけながら子ども達の安全を見守るため研修会等は行われているのか伺う。

A 国や県の「地域ぐるみの学校安全体制整備事業」を受け、平成17年度から配置し

て見守り活動を実施している。活動中の事故については、全国市長会で加入している学校災害賠償保険が適用されている。スクールガード養成講習会を年1回実施し、警察からの情報提供、

校区の子供たちの状況や危険箇所等の情報共有を行っている。事業は学校教育課、備品等の配付については、防犯協会、防災安全課が担当しており、今後も充実を図っていきたい。

(教育長)



健康ポイント制度導入を



青木 章議員

Q 健康づくりに取り組んだ人にポイントを与える「健康ポイント制度」に、医療費を抑制する効果があることが初めて実証された。健康ポイント制度は、運動や検診などを行った人がポイントを受け取って地元の農産物や商品などに交換する制度で、スポーツで住民の健康を増進し、医療費も削減し

ようと導入する自治体が増えていく。幸手市でも厚生労働省やスポーツ庁が連携した「日本健康都市連合」に加入すると共に、早期に健康ポイント制度を取り入れてほしい。

A 当市では、気軽に取り組みめる健康づくりとして「歩くこと」を推奨し「めざせ！毎日1万歩運動教室」に取り組み、平成29年度からは、参加者の歩数に応じてポイント

を付与する「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」を利用して健康ポイント制度を実施する。さらに、平成30年度以降、健診や健康づくり事業、生涯学習活動の参加者に市独自の健康ポイントを付与していきたいと考えている。

（市長、健康福祉部長）

災害時救援の迅速化の進捗状況は



小林順一議員

Q 27年9月議会と同じ質問をしたが、それ以降、圏央道が2月26日全線開通され、企業誘致も順調に進み、市内の環境も大きく変化し、災害支援策、防災計画も変化するのではないか。

27年9月以降災害救援対策は変化したのか伺う。災害時救援に對しての課題があったと思う

が解決したのか伺う。災害時救援の迅速化に大きく効果が発揮される市内各学校の屋上に「ヘリサイン」の早期の設置を強く要望して来たが、その進捗状況を伺う。

A 埼玉県に災害情報を伝達するシステムが新しくなり、迅速な救援要請が可能となった。

圏央道や側道が緊急輸送道路に指定され、遠方からの救援物

資や人員の輸送が強化された。情報収集の迅速化に有効であるドローンについて、来年度に実用化を進めていく。

ヘリサインについては、まずは市役所屋上に表示し、児童・生徒による表示が可能な学校には、来年度以降PTAや地域の方々にも協力いただき、順次実施していきたい。

（市民生活部長、教育次長）

夜の宴会に公用車使用は認められない



大平泰二議員

Q

市長の公用車借り上げ内容について、情報公開制度で調査したところ、公・私区別はあるか疑問。また、夜の宴会ではハイヤーを待たせたままの料金は、5年間で600万円とも推計される。

このような使用法は改めるべきだ。
例として

A

1、H24年度12月17日、市長自宅（迎車なし）↓市役所（4130円）
2、H25年度3月8日、市長自宅↓北公民館↓自宅↓桜高校↓飛車角↓自宅（4560円）
等このような例が多々ある。

借り上げ車の運用については、幸手市公用自動車管理規定の第8条「使用の基準」を準用しており、市の行政上必要な業務に対し利用しているた

め、公務である。
会議や市民との懇談会等の際、短時間で次の目的地に向かうことが多く、また、その時間は、予め確定できないため待機させることが多くなり、長いときで2時間程度になることもある。そのため借り上げ車の利用については、何らかの形で見直していく。

（市長）

今年度、デマンド交通本運行の課題と検証は



松田雅代議員

Q

市の公共交通は、市民意識調査でも満足度の低い行政課題である。市循環バスを廃止し新たに導入したデマンド交通の利便性を高め、市民の足として定着するにはどのような課題があるのか。

60歳代以下の登録者が954人（27・7%）ある。高齢者中心の運用で問題はないのか。今

A

デマンド交通については、平成28年4月に本運行を開始したところであり、平成28年4月1日から平成29年1月31日までの1便あたりの平均乗車人数は2・1人である。今後の検討課題としては、60歳以上の

年度は1月までの利用者が9398人となっているが、1便当たりの乗車数の推移はいかがか。デマンド交通本運行の課題と検証を伺う。

住民が通院することを可能にするため、今後の幸手市のあるべき公共交通体系というものを幸手市地域公共交通会議などを活用して、協議していきたいと考えている。

（市民生活部長）



フィルム・コミッションの設立を促す



小河原浩和議員

Q 近年、映画やアニメ作品のヒットに伴い、そのロケ地などを巡るなど、その地域の観光や経済に大きな影響を与える現象が起きている。当市でも権現堂桜堤をはじめ自然や神社仏閣、古き良き建造物・町並み、きれいな田園風景などロケ地として、絶好の場所が多数あると思う。

ロケ地に関する様々な情報提供や公共施設の使用などを支援する窓口業務Ⅱフィルム・コミッションを設立し、幸手市の多彩な情報や魅力を発信し、映像を通して広くPRしてはいかがか伺う。

ても市の魅力や情報発信が図られるとともに、観光や地域経済への好影響をもたらしていると考ええる。

このため、シティプロモーション、市のイメージアップ戦略の一環としても、今後はフィルム・コミッションの設立について、その効果の大きさを念頭に、検討を進めたいと考える。

(建設経済部長)

市民の地域防災力を高める災害対策の充実は



木村治夫議員

Q 災害が発生した際、その災害が大きければ大きいほど公的支援は減衰する、また災害の発生が公的機関の執務時間中なのか否かによって、初動の対応が全く変わってくると考える。

災害の甚・中・軽問わず備えとして「自助・共助にもとづく地域防災力」を高めることは喫

緊の課題である。

市の自主防災組織の育成・支援について伺う、また応急物資等の確保について伺う、そして大規模災害時の応援体制等、民間企業との相互応援協定を伺う。

A 自主防災組織に対して、組織の役割や活動方法への助言、経費の補助、リーダー養成講座などにより組織の育成、支援を行っている。

応急物資等については、毎年

食料や飲料水の入替え、生活必需品や資機材の購入を行っている。また、災害協定により他自治体や民間団体から応急物資が提供されるようになっていく。

応援体制についても、他の自治体や消防機関、自衛隊、民間団体との災害協定等により協力体制ができていく。

(市民生活部長)

大型開発に伴う交通安全対策は



武藤寿男議員

Q

惣新田菅島地内で、現在開発に伴う6千㎡を超える大型倉庫の建設と、敷地内に48klの給油施設が設けられる予定のことである。

当然大型トレーラーなど多くの車両の出入りが予想される。センターラインのない市道に、出入りする進入路が設けられるとの事、中学生の通学路でもある

り、4号国道バイパスの交差点車両停止線から10mの位置からの出入り口では、大型車では、全ての車両を通行不能にする恐れがある。責任ある市道の安全対策は。



A

市では、埼玉県の道路設計基準を参酌し、出入口を設置する際には、停止線より5m離して設置するようにお願いしており、今回の場合は10m離れているため大きな支障はないものと考えている。

倉庫へ出入りする大型車の大きさ・台数は、現時点では不明であるが、安全性の確保のための道路改良等については、今後検討を行ってまいりたい。

(建設経済部長)

3月定例会 会期日程

- 2月20日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 2月21日・22日・23日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 3月1日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 2月20日・3月2日・3日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 3月6日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 3月8日・9日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 3月17日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

3月定例会

傍 聴 者

40人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数
インターネットを利用した議会中継
(ライブ及び録画)を行っております。

1月	192件	2月	1772件	3月	1127件
----	------	----	-------	----	-------

の方が視聴されました。

6月定例会のお知らせ

6月1日開会予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.city.satte.lg.jp/>

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 3月定例会の会議録は6月上旬頃公開予定です。